

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 空間経済分析枠組の再構築
2. 研究代表者： 高山 雄貴（東京科学大学 環境・社会理工学院 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、現実に観測されてきた「都市人口分布の変化（マイクロな変化）」と「都市規模分布の冪乗則（マクロな規則性）」の両方を再現できる空間経済分析枠組の開発を目的として、既存の空間経済分析枠組を再構築し、「実現象との整合性」を確保することによって「社会基盤整備や地域・都市政策がもたらす長期的効果（ストック効果）の空間分布の把握」を可能かつ容易にする政策分析の基盤を確立する研究である。フェーズ1では、詳細な交通ネットワーク・都市空間を対象とした大規模な数値解析効率化の系統的实施ができたことは成果であり、モデルの再現性の検証とも併せて、当初計画を達成したと評価できる。

フェーズ2では、空間経済分析枠組の完成への道筋に多少不明瞭な部分があるものの、現代的な経済分析に向けて挑戦的な計画であり、創発として適切と判断される。社会実装を視野に入れ、自治体や公共機関との共同研究に発展することを期待する。

以上